

総合型選抜

探究型〈第一次選考・第二次選考〉

スポーツ文化型

探究型 〈第一次選考・第二次選考〉

出願資格

下記の1から3のいずれかの出願資格を有し、本学への進学が第一希望の者。かつ、出身高等学校または中等教育学校の評定平均値が3.5以上の者。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者、および2026年3月卒業見込みの者。
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および2026年3月修了見込みの者。
3. 高等学校に文部科学大臣の定める年数以上在学した者で、当該大学の定める分野または語学力において、特に優れた資質を有する者。

出願期間

2025年 9月1日(月)～9月7日(日)

【書類提出締切日】2025年9月8日(月)

試験日程			合格発表日	手続期限日
区 分	試験日			
	教育学部 健康科学部	総合福祉学部 共生まちづくり学部		
第一次選考	2025年 9月13日(土)	2025年 9月14日(日)	2025年 9月19日(金)	2025年 11月28日(金)
第二次選考	2025年 10月11日(土)	2025年 10月12日(日)	2025年 11月1日(土)	

※総合型選抜 探究型とスポーツ文化型で同じ学科・専攻は受験できません。

出願書類

書 類	備 考	
出願確認票	WEB出願・検定料納入後、印刷	英語資格 または国際バカロレア資格の 活用をする場合の必要書類 ◎ 英語資格等の活用申請書 ◎ 英語資格の得点証明書の写し ◎ 国際バカロレア資格証明書の写し
調 査 書	所属校に依頼	
志望理由書	ホームページからダウンロード	
活動報告書	ホームページからダウンロード	

試験会場

東北福祉大学 国見キャンパス
(宮城県仙台市青葉区国見1-8-1)

検定料

30,000円

第一次選考

選考方法	配 点	内 容
書 類 審 査	100	調査書・志望理由書・活動報告書で総合的に判定します
科 目 試 験	100	50点×2科目試験 ※学科により科目が異なる(詳細は10ページ)
面 接	100	2対1の個人面接

第一次選考スケジュール

時 間	選考内容
9:30～10:30	英語
11:00～12:00	国語または理科
13:00～	面接(15分)

第二次選考 第一次選考合格者には、第二次選考の内容や集合時間などのご案内を第一次選考合格通知と共に発行します。

学科・専攻	配 点	内 容
社会福祉学科・福祉心理学科 共生まちづくり学科・医療経営管理学科	100 100 100	◎ 課題レポート提出(第一次選考合格者に課題を提示) ◎ プレゼンテーション(発表15分・質疑応答5分) ◎ 2対1の個人面接(口頭試問を含む)
福祉行政学科 教育学科 初等教育専攻／中等教育専攻	100 100 100	◎ 課題レポート提出(第一次選考合格者に課題を提示) ◎ プレゼンテーション(発表15分・質疑応答5分・全体終了後ディスカッション15分) ◎ 2対1の個人面接(口頭試問を含む)
保健看護学科 リハビリテーション学科 理学療法専攻／作業療法専攻	100 100 100	◎ 課題レポート提出(第一次選考合格者に課題を提示) ◎ 状況設定問題ディスカッション(1グループ60分・その場でディスカッションテーマを提示) ◎ 2対1の個人面接(口頭試問を含む)

英語資格の活用 下記の要件を満たしている者は、科目試験の「英語」科目を免除し、満点と換算して合否判定します。				
実施主体名	資格・検定試験名	点数／等級	国際バカロレア資格・英語科目	成績評価
Cambridge Assessment English	ケンブリッジ英語検定	140点以上	English B HL	3以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT テスト	42点以上	English B SL	4以上
IDP:IELTS Australia	IELTS アカデミックモジュール	4.0点以上		
一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC® Listening & Reading Test TOEIC® Speaking & Writing Test	1150点以上		
	TOEIC Bridge® Tests (4技能)	170点以上		
株式会社ベネッセコーポレーション	GTEC Advanced GTEC CBT	930点以上		
公益財団法人日本英語検定協会	Test of English for Academic Purposes (TEAP)	225点以上		
	Test of English for Academic Purposes Computer Based (TEAP CBT)	420点以上		
	実用英語技能検定 (英検) ※S-CBTを含む	2級合格 1980点以上		

科目試験の詳細		
学科・専攻	配点・時間	教科・科目
社会福祉学科・福祉心理学科・福祉行政学科 共生まちづくり学科 教育学科 初等教育専攻／中等教育専攻 保健看護学科・医療経営管理学科	各50点 各60分	英 語:英語コミュニケーションI、 英語コミュニケーションII、論理・表現I 国 語:現代の国語、言語文化(近代以降の文章のみ)
リハビリテーション学科 理学療法専攻／作業療法専攻	各50点 各60分	英 語:英語コミュニケーションI、 英語コミュニケーションII、論理・表現I 理 科:生物基礎

科目試験問題解説	
英語コミュニケーションI、 英語コミュニケーションII、 論理・表現I	問題はすべて3択問題で、文法や単語の意味、イディオム文章などを問います。単語のレベルは主に中学・高校の必須単語ですが、授業に出てくる単語はすべて覚えると同時に単語帳も活用して語彙力をつけてください。高校英文法を一通りおさらいし、基本的な構文や会話表現などを復習しておくといでしょう。また、教科書の音読は理解や記憶を助けてくれるものです。普段の勉強でも音読をお勧めします。
現代の国語、 言語文化(近代以降の文章のみ)	評論文等の文章(総字数3,500字程度で、複数資料、実用的文章、図表等を含む場合あり)を題材に、大問1題を出題します。設問は5～7問程度で、重要表現の抜き出し・理由説明等の形で読解力を問うもの、語彙や表現技法を問うものの他、論理的思考力・判断力・表現力等を問うものも1～2問出題します(80～150字程度の記述問題1問を含む)。また漢字の書き取りや読み(常用漢字の書き取り・常用外漢字を含む読み)も出題します。
生物基礎(リハビリテーション学科)	リハビリテーション学科では専門知識の基礎として、解剖学や生理学・運動学といったリハビリテーションの基礎について学ぶ科目の理解がとて重要で、生物の知識はこのリハビリテーションの基礎について学ぶために必要な知識となります。受験時の学習では単語の暗記にとどまらず、設問内容から、適切な名称を推察できるよう、教科書をしっかりと読んで理解を深めてください。標準的な入試問題を解くなどして知識の定着をはかるといでしょう。

【入学手続・入学前教育については26ページを確認してください。】

合格発表	合格発表は「TFU受験ポータルサイト」の「合否結果」から確認することができます。合格者には合格通知書が発行され、「TFU受験ポータルサイト」よりダウンロードが可能です。不合格者には通知は発行されません。
入学手続	合格者は「TFU受験ポータルサイト」の「入学手続」を確認しオンライン入学手続を行います。手続期限日までに入学手続をしてください。期限までに入学手続を行わない場合は、合格を辞退したものとみなします。入学手続を完了した入学予定者には入学許可証が発行されます。
入学前教育	合格者には、入学前教育が課されます。入学予定者に対して公開される「入学予定者向けガイド」を必ず確認してください。

総合型選抜 Pick Up!

POINT 01

探究型の『書類審査』について

探究型の書類審査は100点の配点が組まれています。そのうち、調査書については、評定平均の10倍の値に特別活動・総合学習の点数を5点加えたものになります。たとえば、評定平均値が「4.2」の受験生の場合、書類審査の100点のうち、調査書の部分42点（プラス総合的な探究の時間・特別活動・指導上参考となる諸事項により最大5点）が得点になります。その他、志望理由書で20点、活動報告書で25点の配点が組まれています。志望理由書、活動報告書は面接資料になります。27ページの内容を参照し、面接を見据えた記入をしましょう。

【例：評定平均値が「4.2」の場合の書類審査の点数イメージ】

調査書 42点＋(5点)	＋	志望理由書 15/20点	＋	活動報告書 20/25点
＝				
書類審査 100点満点中 82点				

POINT 03

探究型の『面接』について

探究型では〈第一次選考〉と〈第二次選考〉それぞれ個人面接が課されます。〈第一次選考〉の面接は「志望理由」から開始します。面接官は提出書類が手元にある状態で面接を行います。記載した内容を丸暗記して読み上げるのではなく、記載した内容をもとに「自身の言葉」で面接官に伝えるように心がけましょう。また、自分が希望する将来像から逆算して、「どのようなことを勉強したいのか」「どのような体験をしたいと思っているのか」など、将来へのつながりを意識して話のストーリーを展開するよう心がけましょう。

POINT 05

スポーツ文化型の『小論文』論題について

年 度	小論文論題
2025年度	「責任感とは何か」君の考えを述べなさい
2024年度	「指導力とは何か」君の考えを述べなさい
2023年度	「実力とは何か」君の考えを述べなさい

POINT 02

探究型〈第一次選考〉の『科目試験』について

探究型〈第一次選考〉の科目試験は、リハビリテーション学科が「英語」と「生物基礎」、その他の学科では「英語」と「国語」が課されます。全学科共通で課される「英語」は、例年基本的な文法や語彙力を問う3択問題が出題されます。10ページに掲載されている英語資格を満たす場合、英語資格等の活用申請書を提出することで満点（50点）換算され、試験が免除になります。「国語」では、評論文をベースとして抜き出し問題や漢字書き取り問題などスタンダードな出題傾向です。読解力を問う問題として評論文と図表などを合わせて提示し、そこから読み取れることを記述する問題が含まれることもあります。「生物基礎」では、入学後の専門知識の基礎となることを目的として、この科目試験を設定しています。主に生物と遺伝子、生物の体内環境の維持から出題される傾向があります。

POINT 04

探究型〈第二次選考〉について

探究型〈第二次選考〉では、全学科でレポートの作成があります。このレポートでは、レポート用紙に自由に記述するものや、フォーマットが提示されるものなど学科により異なります。調べて文章をまとめ、要約する力が求められます。合わせて論拠が具体的に示されているのかもポイントになります。プレゼンテーションにおいては、語彙力や国語力、プレゼン技術（努力がうかがえるか）、表現力などが評価されます。状況設定問題ディスカッションでは、伝える力（論理性や表現力、独創性など）と聴く力（共感、共同作業の貢献度など）が評価のポイントになります。

POINT 06

スポーツ文化型の『面接』について

スポーツ文化型の面接は、面接官2名と受験生5～7名程度で行う集団面接です。面接は第一志望の学科・専攻で行います。面接時間は人数により異なりますが約60分です。志望理由や高校時代の活動、入学後の団体・種目での活動のほか、入学後に学びたいことや将来の目標なども質問されることを前提に、学科・専攻の学びについて理解を深めておきましょう。